

【参考：クロス集計（若手保育士）】

令和5年度 保育人材確保・定着に関する実態 調査

調査結果の概要 (クロス集計：若手保育士)

令和5年12月

鳥取県子ども家庭部子育て王国課

【調査客体数】

年齢：20歳代/30歳以上

カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
20歳代	250	19.5	19.6
30歳以上	1028	80.3	80.4
無回答	2	0.2	
N (%ベース)	1280	100	1278

※本調査結果報告における定義は以下のとおり。

20歳代：現役保育士のうち20歳代の方(対象250名)

30歳以上：現役保育士のうち30歳以上の方(対象1028名)

学生：県内保育士養成施設の在学生(対象177名)

【調査結果の概要】

(1) 保育士になったきっかけ

○保育士を目指したきっかけは、30歳以上、20歳代、学生ともに、「子どもと触れ合うのが楽しい」がトップだが、20歳代と学生では、「憧れの先生との出会い」や「小中学校の体験」が上位なのに対し、30歳以上では、「憧れの先生との出会い」に続き、「その他」が上位に入っている。

⇒若年者層では、子どもの頃の実体験が職業選択に重要な要素となっている。

問 保育士を目指したきっかけ(複数回答)

答 [30歳以上]①子どもと触れ合うのが楽しい(57.9%)、②憧れの先生との出会い(22.6%)、③その他(14.1%)

[20歳代]①子どもと触れ合うのが楽しい(63.2%)、②憧れの先生との出会い(29.6%)、③小中高の体験(28.0%)

[学生]①子どもと触れ合うのが楽しい(71.8%)、②小中高生の体験(36.7%)、③憧れの先生との出会い(32.2%)

(2) 就職の決め手や就職先選びで重視すること

○就職の決め手や就職先選びで重視することは、30歳以上では「通勤が便利」と「働きがい」が上位なのに対し、20歳代と学生では、「園の雰囲気・評判」と「給与」が、それぞれ上位に入っていた。

⇒若年者層は、園の雰囲気や評判を重視して就職先を選んでいる。

問 就職の決め手になったこと、又は就職先選びで重視すること(いずれも複数回答)

答 [30歳以上]①通勤が便利(42.3%)、②働きがい(37.6%)、③勤務時間が合う(32.1%)

[20歳代]①園の雰囲気・評判(42.6%)、②給与(28.9%)、③通勤が便利(26.1%)

[学生]①園の雰囲気・評判(81.9%)、②給与(63.3%)、③働きがい(61%)

(3) 保育士になってよかったこと

○保育士になってよかったことは、30歳以上と20歳代のいずれも「子どもの成長を実感できること」がトップだが、30歳以上は「自身の成長につながること」、「保護者からの感謝」と続くのに対し、20歳代は「保護者からの感謝」、「自身の成長につながること」と続いている。

⇒若年者層ほど、保護者からの感謝がモチベーションアップにつながっている。

問 保育士になってよかったこと(複数回答)

答 [30歳以上]①子どもの成長実感(95.4%)、②自身の成長(44.1%)、③保護者からの感謝(41.1%)

[20歳代]①子どもの成長実感(96.8%)、②保護者からの感謝(47.8%)、③自身の成長(34.8%)

(4) 現役保育士の離職経験、離職理由

○離職経験は、30歳以上が約5割と高いが、20歳代も、約1割が離職経験ありと回答した。

○離職理由は、30歳以上が「育児」、「出産」、「職場の人間関係」と続くのに対し、20歳代は「職場の人間関係」がトップになっている。

⇒若年者層ほど、職場の人間関係が原因で離職をしている。

問 離職経験があるか(単一回答)

答 [30歳以上]①離職経験あり(50.9%)、②離職経験なし(49.1%)

[20歳代]①離職経験なし(88%)、②離職経験あり(12%)

問 離職理由(複数回答)

答 [30歳以上]①育児(29.1%)、②出産(28.7%)、③職場の人間関係(26.6%)

[20歳代]①職場の人間関係(50.0%)、②給与(36.7%)、③業務の負担感(33.3%)

(5) 保育士の確保・定着に必要なこと

○保育士の確保・定着に必要なことは、30歳以上、20歳代、学生すべてで「給与改善」がトップとなっており、学生以外では、「配置基準の見直し」と「業務負担の見直し」が上位に入っている。一方、学生では、「人間関係の円滑化」と「休暇が取得しやすい環境整備」が上位に入っている。

⇒若年者層は「人間関係の円滑化」や「休暇取得」を重視する傾向にある。

問 保育士確保・定着に必要なこと(複数回答)

答 [30歳以上]①給与改善(87.5%)、②配置基準見直し(73.9%)、③業務負担見直し(73.8%)

[20歳代]①給与改善(92.4%)、②業務負担見直し(75.6%)、③配置基準見直し(74.4%)

[学生]①給与改善(76.3%)、②人間関係の円滑化(54.2%)、③休暇取得環境の整備(50.9%)

(6) 新人保育士の育成・定着に必要なこと

○新人保育士の育成・定着に必要なことは、30歳以上、20歳代どちらも「職場内のコミュニケーション」がトップとなっている。

⇒年代を問わず、職場内コミュニケーションの活性化が求められている。

問 新人保育士の育成・定着に必要なこと(複数回答)

答 [30歳以上]①職場内のコミュニケーション(80.2%)、②業務負担見直し(56.6%)、③教育・研修体制の充実(53.8%)

[20歳代]①職場内のコミュニケーション(77.6%)、②給与改善(64.8%)、③業務負担見直し(62.4%)

(7) その他自由意見からみる世代間意見

○若手保育士 → 中堅・ベテラン保育士(施設)

- ・何もわからないまま現場に入って仕事をしろと言われても難しい。せめて最初の1週間だけでもそばに誰かがついて教えてほしい。
- ・現場の保育に対する考え方がアップデートされていない。ベテランにこそ研修や学び直しの機会が必要。

○中堅・ベテラン保育士(施設) → 若手保育士

- ・新人を育てていきたいが、上手な関わり方(コミュニケーションの仕方)が分からない。
- ・就職1年目で1人分の働きは難しい。新人は半年か1年間ぐらい研修期間として現場で学ばせるべき。

その他、調査結果の詳細は県ホームページをご覧ください >>>

